

## ナシの作況について(8月10日分)

農技研果樹担当

### 1 生育状況等

- (1)「無処理幸水」短果枝は8月10日の作況調査以前に一部の収穫が行われたので、果実横径測定結果のデータ記載はないが、計測した果実18個の平均横径は94.7mmとなっており、概ね平年並みの肥大となった。
- (2)「豊水」の果実肥大は回復傾向。
- (3)「彩玉」の果実肥大は回復傾向。
- (4)「あきづき」の果実肥大は停滞傾向。軸折れがやや多い。

### 2 病虫害の発生状況

ハダニ類の多発した箇所は気門封鎖剤を散布。ハダニ類の発生は小康状態となったが、気門封鎖剤では卵は死なないので、今後多発するようであれば気門封鎖剤を連用する予定。

「あきづき」、「甘太」等、中生品種以降のカイガラムシ防除のため、天敵に影響の少ないネオニコチノイド系の農薬を散布する予定。

### 3 早生品種の収穫

「幸水」の収穫は7月25日から始まったが、収穫はだらだら傾向で、今時点で全体の半分を超えた程度。

「彩玉」の収穫目安は開花が満開後125日～130日(高接ぎ、苗木など樹の状態により収穫の目安は異なる)であるが、果実の肥大状況等から2～3日遅れると予測している。高温が続く条件下では、収穫始めからピークまでの期間が短い場合もあり、注意が必要。